

しーぱっぷ通信



2017年第1号

発行：長田病院睡眠呼吸センター

担当：中島 岡 野口 笠原 森山

まだまだ寒さが続いています、皆様いかがお過ごしでしょうか。

CPAP療法で気になることはありませんか？

今回のしーぱっぷ通信は、皆さんからよく聞かれる質問についての対処法を紹介したいと思います。

よく聞かれる質問



Q CPAP装置からの空気が気になってなかなか眠れない。

A CPAP装置は呼気（吐く息）のときも空気を気道に送るため、導入初期はとくに息苦しさを覚えることが多いかもしれません。

治療に必要な圧になるまでの時間を遅らせる機能（ランプ機能、移行時間）がついているので、これを用いるとスムーズに眠りにつけるでしょう。機器を持参されますと、設定変更ができます。ご相談ください。



Q いつからか、マスクからの空気音が大きく感じる。

A マスク部品の外れ、破損により空気が漏れて大きい音がしているものと考えられます。空気が漏れた状態で装着しても、必要な圧が供給されず効果がありません。

病院内でマスク調整行っております。破損の場合は新しいマスクと交換しております。



Q CPAPは出張や旅行に持ち歩いたほうがいいですか？

A 基本的にはCPAP療法は毎日行うものですので、持参された方がいいでしょう。しかし、無呼吸の程度は2~3日であれば治療前の状態まで戻ることはないと言われています。持参されない場合も、帰宅後は必ずCPAP療法を再開してください。

Q 鼻や喉が乾いてしまいます。

A CPAP装置は室内の空気を取り込んでいるため、空気が乾燥しているときは、鼻や喉が渇きがちになります。加湿器などでお部屋の湿度調整をしましょう。CPAP専用の加湿器もありますので、症状がひどい場合は主治医にご相談ください。また、口が開いていると鼻から送った空気が口から抜けるため喉が渇きます。口を閉じて眠るようにしてください。



その他、お気軽にご相談ください！

CPAPについてどんなことでも構いません！！12番窓口（中島・岡・野口・笠原・森山）または、医師、看護師、病院スタッフまでお声かけください。

お願い

CPAP療法は健康保険の適応となるため、使用者の方には月に1回の受診をお願いしています。健康保険の適応が受けられない場合には、負担額は14,600円/月となりますので必ず受診していただきますようお願いいたします。

入院や長期旅行・出張などの為、受診ができない場合は当院受付へ連絡していただきますようお願いいたします。

連絡先 0944-72-3501 (代表)

